

事業所名

Jr. Jump (放課後等デイサービス)

支援プログラム(参考様式)

作成日

7年

1月

16日

法人(事業所)理念	いろいろな経験や学びから可能性をのばし、将来に必要な力を身につける成長の援助を行う					
支援方針	ひとりひとりの特性に合わせて成長や発達をめざし、今必要な内容に着目し課題プログラムを作成して支援を行う 楽しく身体を動かしながら身体機能を向上させ、日常生活の動作・学習能力・社会性の基礎となる脳機能の発達をめざす 地域の施設利用や屋外活動、イベントへの参加により様々な体験を重ね知見を広げる環境を設定する					
営業時間	平日	14時	30分	17時	30分	送迎実施の有無 あり なし
	学校休業日	9時	30分	17時	0分	
支援内容						
本人支援	健康・生活	健康的な生活習慣やリズムを整え、日常生活における基本的な動作や自立を身につけていく ・意思表示の難しい発達の過程や特性に配慮し、小さなサインから心身の把握に努める ・食事・睡眠・排泄・着替えなど必要な援助をしながら身辺自立の向上に努める ・持ち物や教材、遊具などの扱いを自分で行いやすいように時間や空間を本人にわかりやすく提示、支援をして安全に過ごせる配慮をする				
	運動・感覚	運動機能や体幹の発達を図り正しい姿勢の保ち方を身につけ、感覚過敏や鈍麻の状況の場合にも配慮しながら過ごしやすい環境を整える ・走る、跳ぶなどの粗大運動やひも通し、絵を描く、工作するなどの微細運動をバランスよく取り入れることで全体的な発達をサポートする ・自分の身体の動きを理解し、意図的にコントロールできるようにリズムに合わせて動くダンスや体操を行い、よりスムーズに動かす力を身につけるように支援する ・運動を通じて成功体験を積み重ね達成感や自己肯定感を高めたり、楽しみながらできる動きを通して心身のリラックスを促しストレスを軽減できるように配慮する				
	認知・行動	様々な体験を通していろいろな状況や物の認知・理解を促し、行動への発達を進めていく ・視覚・聴覚・触覚などの感覚を活かした遊びや活動を通して、物の属性や大小、形、量、時間、行動パターンなど特性に合わせた認知機能の発達を促す ・一年を通して季節に合った行事や製作、屋外活動などから季節の変化への興味や感性を養えるようにする ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防に努め、適切な行動に導けるように支援を行う				
	言語 コミュニケーション	個々の特性に応じたコミュニケーション手段を学び、相手の意図の理解や自分の気持ちを伝える術が身につくように支援を行い、必要に応じ指導員や言語聴覚士が受容や表出のための仲介を行う ・動作・口形・音声などの模倣の練習の繰返しや視覚的ツールを利用して伝えたり理解される成功体験を積み重ねて他者とのコミュニケーションへの意欲に繋げていく ・発達に合わせて文字への関心を導き、文字合わせやなぞり書き、読み書きで自己表現の幅を広げるようにする ・集団活動や遊びを通して自ら必要なコミュニケーション(言語・非言語)方法の選択や活用を行いながら実践できるように援助する				
	人間関係 社会性	指導員との信頼関係の構築の下、身近な同年代や異年齢児者に関心を持ち、模倣したり関わる機会により社会生活における適応力を身につけることができるように支援する ・事業所での生活に慣れ、過ごし方、決まりのあることや守る大切さを知ることができるように視覚化や構造化によりわかりやすく示し支援していく ・集団活動や遊びなどに参加することで、いろいろな他者の存在に気づき協力したり同じ体験を共有して仲間づくりの機会を提供する ・公共施設の活用や買い物体験などの人との関わりや活動を通して社会的ルールを知る経験を積み、自立に向けた実践的な練習の機会を提供していく				
家族支援	送迎時や連絡帳、電話、メール等により情報共有に努め、今後のよりよい支援に繋げていく 事業所内において成長の基盤となる家庭生活の安定と充実のための相談援助を行う	移行支援			中学・高校進学など将来を見据えた支援目標や支援内容を設定していく 移行がスムーズに行えるように必要に応じて関係機関への情報の提供を行うっていく	
地域支援・地域連携	保護者・学校や相談支援事業所等の関係機関との情報共有・連携を行い、個別の支援者会議や担当者会議への出席を行う 公共施設の利用を活かし地域や他者と関わる機会や地域とつながる取り組みを行い、相互理解を深めていく 実習生やボランティアを受入れ、障害特性や関わり方を案内する	職員の質の向上			定期的なミーティングの開催 外部研修参加、事業所内研修の実施と各自随時受講可能な研修動画の導入 資格取得支援制度	
主な行事等	季節に合わせた活動：花見、七夕、水遊び、縁日ごっこ、防災訓練、社会見学、ハロウィン、クリスマス会、年賀状作成、凧あげ、餅つき、豆まき、ひなまつりなど 学校休業日の活動：昼食・おやつ作り、外食体験、体育館での運動遊び、公共施設利用 地域資源：ボランティアによるパフォーマンスの鑑賞、体験					

事業所名

Ch. Jump (児童発達支援)

支援プログラム (参考様式)

作成日

7年

1月

16日

法人(事業所)理念		いろいろな経験や学びから可能性をのばし、将来に必要な力を身につける成長の援助を行う					
支援方針		ひとりひとりの特性に合わせて成長や発達をめざし、今必要な内容に着目し課題プログラムを作成して支援を行う 楽しく身体を動かしながら身体機能を向上させ、日常生活の動作・学習能力・社会性の基礎となる脳機能の発達をめざす 地域の施設利用や屋外活動、イベントへの参加により様々な体験を重ね知見を広げる環境を設定する					
営業時間		9時	0分	13時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康的な生活習慣やリズムを整え、日常生活における基本的な動作や自立を身につけていく ・意思表示の難しい発達の過程や特性に配慮し、小さなサインから心身の状態の把握に努める ・食事・排泄・着替えなど必要な援助をしながら身辺自立の向上に努める ・持ち物や教材、遊具などの扱いを自分で行いやすいように時間や空間を本人にわかりやすく提示し、援助しながら安全に過ごせる配慮をする					
	運動・感覚	運動機能や体幹の発達を図り正しい姿勢の保ち方を身につけ、感覚過敏や鈍麻の状況の場合にも配慮しながら過ごしやすい環境を整える ・立つ、歩く、走る、跳ぶなどの粗大運動や積み木、型合わせ、絵を描く、工作するなどの微細運動をバランスよく取り入れることで全体的な発達をサポートする ・自分の身体の動きを理解し、意図的にコントロールできるようにリズムに合わせて動くダンスや体操を行い、スムーズに動かす力を身につけるように支援する ・姿勢の保持や各種運動や行動が困難な場合は、保持椅子や補助用具等を活用し無理なく活動に参加できるようにする。 ・心身の緊張感をほぐすマッサージや楽しみながらできる動きを通して心身のリラクセスを促し、ストレスを軽減できるように配慮する					
	認知・行動	様々な体験を通していろいろな状況や物の認知・理解を促し、行動への発達を進めていく ・視覚・聴覚・触覚などの感覚を活かした遊びや活動、お友達との遊びの中で保育士の介入を受けて特性に合わせた認知機能の発達を促す ・食育活動では咀嚼しやすい形状の提供により口腔内の感覚(味覚・臭覚)を刺激したり、発達に応じてスプーン・フォーク・箸を使って食事ができるように支援する ・一年を通して季節に合った行事や製作、屋外活動などから季節の変化への興味や感性を養えるようにする ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防に努め、適切な行動に導けるように支援を行う					
	言語 コミュニケーション	個々の特性に応じたコミュニケーション手段を選択し、保育士や言語聴覚士が言語の受容や表出のための支援内容を繰り返し実践していく ・動作・口形・音声などの模倣の練習の繰り返しや視覚的ツールを利用して伝えたり理解される成功体験を積み重ねて他者とのコミュニケーションへの意欲に繋げていく ・集団活動や遊びを通して必要なコミュニケーション(言語・非言語)方法の選択をし、援助しながら自ら活用できるように支援する					
	人間関係 社会性	保育士との信頼関係の構築の下、まわりの大人や同年齢の子に関心を持ち、模倣したり関わる機会を提供する ・事業所での生活に慣れるように身支度の仕方やスケジュールを知り、見通しを持ちながら安心して過ごせるように視覚化や構造化によりわかりやすく示していく ・集団活動や遊びなどに参加することでいろいろな他者の存在に気づき、模倣や協力をしたり同じ体験を共有して味わえる一体感や仲間づくりの機会を提供する ・公共施設の活用や地域の公園への散歩などから他者との関わりや活動を通して社会的ルールを知る経験を積み重ねることができるよう実践的な練習の機会の提供をしていく					
家族支援		送迎時や連絡帳のやり取りに加え、定期的に電話により情報共有に努め、今後のよりよい支援に繋げていく 事業所内において成長の基盤となる家庭生活の安定と充実のための相談援助を行う			移行支援		入園や就学など将来を見据えた支援目標や支援内容を設定していく 移行がスムーズに行えるように就園会議への出席や教育委員会などへ必要に応じて情報の提供を行う
地域支援・地域連携		保護者・保育園や相談支援事業所等の関係機関との情報共有・連携を行い、個別の支援会議や担当者会議への出席を行う 公共施設の利用を活かし地域や他者と関われる機会や地域とつながる取り組みを行い、相互理解を深めていく 実習生やボランティアを受入れ、障害特性や関わり方を案内する			職員の質の向上		定期的なミーティングの開催 外部研修参加、事業所内研修の実施と各自随時受講可能な研修動画の導入 資格取得支援制度
主な行事等		季節に合わせた活動：花見、七夕、水遊び、縁日ごっこ、防災訓練、社会見学、ハロウィン、クリスマス会、凧あげ、豆まき、ひなまつりなど 地域資源：公共施設利用、ボランティアによるパフォーマンスの鑑賞、体験					